



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年1月5日

上場会社名 株式会社アオキスーパー 上場取引所 東
 コード番号 9977 URL <https://www.aokisuper.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 俊道
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 黒澤 淳史 (TEL) 052(414)3600
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の業績 (2021年3月1日~2021年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	75,511	△5.9	665	△74.8	738	△72.6	452	△74.3
2021年2月期第3四半期	80,266	4.5	2,645	227.9	2,696	207.4	1,763	246.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年2月期第3四半期	78.17		78.16					
2021年2月期第3四半期	305.89		304.29					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	30,476	21,592	70.8
2021年2月期	37,313	21,693	58.0

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 21,581百万円 2021年2月期 21,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2022年2月期	—	30.00	—		
2022年2月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年2月期期末配当金の内訳 記念配当 10円00銭

3. 2022年2月期の業績予想 (2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,200	△5.6	760	△76.2	850	△74.0	500	△75.6	86.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	6,250,000株	2021年2月期	6,250,000株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	475,772株	2021年2月期	447,648株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	5,789,399株	2021年2月期3Q	5,764,378株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、国内においても政府が断続的に緊急事態宣言を発出し、10月の緊急事態宣言解除後も同ウイルスの新たな変異株が確認されるなど、社会経済活動は引き続き非常に厳しい状況となりました。また、同感染症の世界的な影響から、供給面での制約や需要の急回復に伴う原材料価格の高騰などが国内経済を下振れさせるリスク並びに海外経済の動向及び金融資本市場の変動に留意が必要など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当小売業界におきましても、同感染症の長期的な影響により、雇用情勢の悪化や個人所得の減少が消費者マインドに与える影響が懸念され、低価格志向など根強い生活防衛意識の高まりにより、今後も厳しい状況が続くものと思われまます。さらに、当社を取り巻く経営環境は、食品の取扱比率を高めているドラッグストアや同業店舗間競争の激化、人件費の高騰などに加え、資源価格や穀物価格等の上昇に伴う仕入価格の上昇の影響により、引き続き厳しい状況が続くものと考えられます。

このような状況におきまして当社は、政府・自治体の指針に沿い、お客様及び従業員の安心・安全を最優先に、店舗における感染拡大防止対策に取り組み、営業活動を継続いたしました。

店舗政策では、6月に中村店・10月に今伊勢店・11月に清城店をリニューアルオープンいたしました。

販売促進政策では、生鮮食料品に強みを持つ食品スーパーである当社の特色を前面に打ち出し、月に一度、第2水曜日は鮮魚を中心とした「魚の日」、第3水曜日は野菜や果物を中心とした「青果の日」、29日は精肉を中心とした「肉の日」として、旬の食材やお値打ち品を多数取揃えた企画を実施いたしました。また、当社は6月に創業80年を迎えたことから、お客様からの永年のご愛顧に感謝し、創業80年を記念したスクラッチお買物券プレゼントやメーカーと共同でお買物券プレゼントの特別企画等を実施いたしました。

業績面では、「新しい生活様式」の浸透による来店頻度の減少や生活防衛意識の高まりへの対策として、低価格販売の強化などに取り組みましたが、生鮮商品の相場変動や原材料及び包装資材等の高騰に伴う主力品目の価格改定の要請により販売促進企画が限定的となったこと、また、昨年の同感染症の影響による内食需要の急激な高まりによる「巣ごもり需要」の反動減に加えて、10月の緊急事態宣言解除後の消費者行動の変化に伴う来店客数・買上点数の減少により、売上・利益ともに減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期は、営業収益755億11百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益6億65百万円（前年同期比74.8%減）、経常利益7億38百万円（前年同期比72.6%減）、四半期純利益4億52百万円（前年同期比74.3%減）となりました。

なお、当社は、食料品を中心に生活関連用品等の販売を主体とする事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前事業年度に比べ、79億57百万円減少し、122億81百万円となりました。これは主に、前事業年度末が金融機関の休業日にあたり、仕入債務等の支払50億98百万円が3月1日となったこと、並びに土地の取得に係る支払いに伴う現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前事業年度に比べ、11億21百万円増加し、181億95百万円となりました。これは主に、土地の取得によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度に比べ、68億36百万円減少し、304億76百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前事業年度に比べ、67億54百万円減少し、69億54百万円となりました。これは主に、前事業年度末が金融機関の休業日にあたり、仕入債務等の支払50億98百万円が3月1日となったこと、及び未払法人税等の減少によるものであります。

固定負債は、前事業年度に比べ、19百万円増加し、19億29百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度に比べ、67億34百万円減少し、88億84百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前事業年度に比べ、1億1百万円減少し、215億92百万円となりました。

また、自己資本比率は、前事業年度に比べ、12.8ポイント増加いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、本日(2022年1月5日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2021年11月30日)
(単位：百万円)		
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,135	9,835
売掛金	0	0
商品	1,581	1,691
貯蔵品	20	24
未収還付法人税等	—	282
その他	501	447
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	20,239	12,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,697	6,618
土地	4,078	5,309
その他(純額)	1,305	1,327
有形固定資産合計	12,081	13,256
無形固定資産	351	336
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,964	2,891
その他	1,723	1,758
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	4,640	4,602
固定資産合計	17,073	18,195
資産合計	37,313	30,476
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,630	4,994
未払法人税等	978	9
賞与引当金	184	368
役員賞与引当金	54	—
ポイント引当金	264	290
環境対策引当金	94	—
その他	2,504	1,292
流動負債合計	13,709	6,954
固定負債		
退職給付引当金	737	758
長期預り保証金	761	756
資産除去債務	405	411
その他	5	4
固定負債合計	1,910	1,929
負債合計	15,619	8,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,372	1,372
資本剰余金	1,775	1,823
利益剰余金	19,283	19,330
自己株式	△772	△944
株主資本合計	21,658	21,581
新株予約権	35	10
純資産合計	21,693	21,592
負債純資産合計	37,313	30,476

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	76,396	71,733
売上原価	63,422	60,863
売上総利益	12,973	10,870
その他の営業収入	3,870	3,777
営業総利益	16,843	14,648
販売費及び一般管理費	14,197	13,982
営業利益	2,645	665
営業外収益		
受取利息	19	18
受取保険金	0	20
その他	31	37
営業外収益合計	52	75
営業外費用		
支払利息	0	0
収納差金	0	0
自己株式取得費用	—	2
営業外費用合計	1	3
経常利益	2,696	738
特別利益		
新株予約権戻入益	—	20
環境対策引当金戻入額	—	6
その他	6	1
特別利益合計	6	28
特別損失		
固定資産除却損	54	61
損害賠償金	1	—
特別損失合計	56	61
税引前四半期純利益	2,647	705
法人税、住民税及び事業税	1,002	293
法人税等調整額	△118	△40
法人税等合計	883	252
四半期純利益	1,763	452

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。